

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年01月08日

計画の名称	東海道本通り線等地区における街なみ環境の向上											
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	平塚市											
計画の目標	<p>東海道本通り線等地区は、平塚駅から徒歩5分の中心市街地内に位置し、また、かつて東海道平塚宿が存した区域として、平塚市景観計画で指定する景観重点区域（歴史軸）内にも位置している。</p> <p>さらに、地区内を見附台周辺地区では、現在、平塚文化芸術ホール等の施設整備が進められており、今後、当地区に市内外から多くの方々が来街されることが想定されている。</p> <p>こうしたことから、平塚駅からの地区への歩行者のメイン動線である東海道本通り線等において、歩道の美装化や道路附属物等の修景、バリアフリー化、歩道橋の撤去及び電線地中化等の道路の景観整備等に取り組むことで、景観重点区域として市内外から多くの方々を出迎えるに相応しい道路空間の形成を目指す。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	328	A	328	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
1	地点における平日と休日の1日当たりの歩行者通行者数の平均値が3940人（R3）から4728人（R7）へ1.20倍の増加 歩行者通行者数を測定する $(平均歩行者通行者数) = \{ (平日の歩行者通行者数) + (休日の歩行者通行者数) \} / 2$	3940人/日	人/日	4728人/日
2	景観重点区域の良好な景観形成に向けた歩道美装化の整備率を0%（R3）から66%（R7） 歩道美装化計画総面積2647.1㎡（幹道29号東海道本通り線2101.5㎡、市道見附町7号線545.6㎡） $(整備率) = (美装化総面積) / (美装化計画総面積)$	0%	%	66%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
歩行者通行量R3当初は令和元年12月調査時点の実績値												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	平塚市	直接	市	-	-	東海道本通り線等地区 街 なみ環境整備事業	歩道美化、歩道橋撤去、電 線地中化等 幹道29号東海 道本通り線 約230m、市道見 附町7号線 約50m	平塚市						328	14.54	策定済	
												小計						328		
											合計						328			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	106	0	32	31	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	106	0	32	31	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	32	
支払済額 (e)	100	0	0	32	
翌年度繰越額 (f)	0	0	32	31	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	23	
不用額 (h = c+d-e-f)	6	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.66	0	0	36.5	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				引込管の位置などについて、沿道事業者との調整に期間を要したため	